

県中農林ニュース

第33号

令和5年9月5日発行

編集・発行

福島県県中農林事務所

ひとつ、ひとつ、実現するふくしま



布引高原のひまわり

- 特集 P1~2
- 農林業関係の動き P2~10
- 頑張る農林業者 P11
- 各部・各普及所の紹介 P11
- お知らせ P11~12

特集

JA トップセールスが行われました



今年も、当事務所管内のJA 夢みなみとJA 福島さくらは、各JA産の野菜や果物の販売促進と販路拡大を推進するため、京浜市場において、組合長や管内の市町村長によるトップセールスを行いました。当事務所からも参加しましたので、その概要を報告いたします。

【JA 夢みなみ】

6月22日（木）～23日（金）、東京都中央卸売市場大田市場において、^{ささきかずなり}佐々木一成組合長をはじめ、岩瀬・石川・西白河地方の市町村長ほか関係機関の計35名が参加し、夏秋野菜等のPRが行われました。

JA 夢みなみ組合長、石川地方町村会長の挨拶の後、キュウリやトマトなどの夏野菜とノベルティグッズの詰め合わせを市場内の卸売の方々に配布しました。たくさん準備していた配布分がすぐになくなり、展示用で持って行った野菜もPRとして配布するほど、大盛況のうちにトップセールスは幕を閉じました。



【トップセールス会場にて集合写真】



【市場を視察する様子】

【JA 福島さくら】

7月20日(木)～21日(金)、東京都千代田区内のホテルと東京都中央卸売市場淀橋市場において、志賀博之組合長をはじめ、郡山市・田村地方・いわき市・双葉地方の市町村長ほか関係機関・団体と県内、京浜地区の卸売業者の計62名が参加し、夏秋野菜等のPRが行われました。

初日に行われた意見交換会では、産地側より「今年は霜の被害もあったが、その後順調に生育しているため安心して買っていただきたい。」市場側より「今年は価格が高騰し、消費者の購買意欲が下がっている。宣伝に力を入れていきたい。」との声が寄せられました。

次の日に行われた新宿ベジフルでのトップセールスでは、JA福島さくら組合長、田村市長、双葉地方町村会長の挨拶の後、市場内の仲卸の方々にピーマン、ミニトマト、クリアファイルを配布し、野菜のおいしさをPRしました。



【意見交換会の様子】



【トップセールス会場にて集合写真】

意見交換会や市場での販売促進PR活動などを通し、野菜や果物のおいしさだけではなく、産地の熱意も消費地にしっかりと伝えられたものと思います。

当事務所においても、引き続き、県中地域の農産物の消費拡大に積極的に取り組んでまいりますので、本ニュースをご覧の皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。

農林業関係の動き (トピックス)

郡山市立西田学園の児童が「田んぼの学校」で田植えをしました！【農村整備部】

5月16日(火)郡山市立西田学園5学年児童29名が、「ふくしまの農育」推進事業による体験学習で田植えを行いました。

児童たちは、田んぼを維持管理している多面的機能支払交付金活動組織の方々から指導をいただきながら、丁寧にまっすぐ苗を植えることができました。

「いつも食べているおいしいお米が作られるまでには苦労がかかるのだと思った。」と食の大切さを感じている様子でした。今後の活動では、稲刈り、収穫祭を予定しています。



【講師の指導を受ける児童たち】



【田植え体験】

きゅうり選果場の視察研修を実施しました！

【農業振興普及部】

郡山地域では、主力品目「きゅうり」の揺るぎない産地形成を目指し、JA福島さくら（本店営農部及び郡山統括センター）、郡山市、県中農林事務所農業振興普及部が構成員となって、郡山地域きゅうり振興プロジェクトを立ち上げ、きゅうりの生産振興に取り組んでいます。プロジェクト活動の一環として、6月9日（金）に、今後の産地拡大を推進する上で重要となる選果場施設（二本松市）の視察を生産者とともに実施しました。



【選果場視察の様子】

参加者からは、選果場施設導入のメリットなどについて積極的に質問がなされ関心の高さが伺えました。今後とも関係機関と連携してきゅうりの産地づくりを推進してまいります。

鳥獣被害対策モデル集落で電気柵設置の勉強会を実施しました！

【田村農業普及所】

6月14日（水）及び8月22日（火）に、鳥獣被害対策モデル集落である三春町^{よぎあし}過足地区のほ場において、「過足のみんなで作ってみる電気柵設置勉強会」を開催しました。

特定非営利活動法人おーでらすの^{こんのまりこ}今野万里子氏を講師に、ほ場周辺の環境診断や、電気柵設置方法のポイントの説明を受けた後、集落住民の皆さんによる電気柵の設置作業を行いました。

参加者からは、「設置のポイントを理解し、実際に設置することで自信がついた。他に設置する人がいたら教えてあげたい。」や「これで鳥獣が侵入しなくなると嬉しい。効果が持続するように草刈り作業を徹底したい。」との感想や電気柵設置に対する期待の声がありました。



【電気柵の支柱を設置している様子】

第3回きゅうり基礎力アップ研修会を開催しました！

【須賀川農業普及所】



【篤農家ほ場で現地研修】

6月16日（金）、須賀川農業普及所で、栽培歴5年以下の栽培経験の浅い生産者を対象に、今年度3回目のきゅうり基礎力アップ研修会を開催しました。収穫開始以降の栽培管理と病虫害防除について、^{とくのうが}篤農家（農業に携わり、その研究・奨励に熱心な人）の作業動画を活用して座学研修を行いました。

6月20日（火）には、露地きゅうりの篤農家ほ場（天栄村）で現地研修を行いました。梅雨時期の貴重な晴れ間の中、栽培管理や仕立て方、かん水・^{かんちゅう}灌注の頻度等、活発に議されました。

今後は11月、2月に研修会を企画しています。

6月20日（火）に須賀川市が、藤沼湖自然公園で松くい虫防除事業として、カミキリ虫対策の薬剤地上散布を実施しました。松枯れは、マツノマダラカミキリが食べた若枝の樹皮の傷口から、病原線虫マツノサイセンチュウがカミキリ虫を介して松の中に侵入して枯死に至ります。

薬剤散布に当たっては、前もって近隣の住民や養蜂家へ注意喚起するとともに、人のいない早朝に安全に留意して作業を行っています。

明治から昭和にかけて良質材として東京方面へ盛んに出荷された岩瀬マツ（アカマツ）のわずかに残された美林^{びりん}が、須賀川市やふくしま中央森林組合等、関係者の努力によって今も保たれています。



【林内はホースガン（左写真）、道路沿いはスパウダー（右写真）による状況に応じた散布】



外来生カミキリムシ類に注意！



昨今、外来生カミキリムシ類が全国各地で確認されております。

クビアカツヤカミキリ	果樹類、サクラなどで被害が確認されています。モモの大害虫で、木の内部を食い荒らし枯死させるため発生地では壊滅的な被害が発生しています。 なお、本県では未確認です。
ツヤハダゴマダラカミキリ	トチノキ等の街路樹で被害が確認されています。 県内では、県北・県南地域を中心に、20市町村の街路樹で被害が確認されています。
サビイロクワカミキリ	エンジュ等の街路樹で被害が確認されています。 県内では、県中地域を中心に、19市町村の街路樹で被害が確認されています。

外来生カミキリムシを発見したら、下記までご連絡ください。

福島県病害虫防除所 発生予察課 （農業総合センター安全農業推進部 発生予察課）
電話 024-958-1709 FAX 024-958-1727

「ひとつ、ひとつ、実現する農業塾」今年も開催しています！

【農業振興普及部】

農業振興普及部では、新規就農者へのフォローアップや研修会の開催など、新たな農業担い手の確保・育成に向けた取組を重点的に行っています。

今年度は、昨年度に引き続き、就農から5年以内の新規就農者を重点対象者と位置づけて巡回等により栽培管理支援を行うとともに、農業生産・経営に関する基礎的な知識や技術を習得する研修会を開催しています。



研修会の第1回は、6月26日（月）に「病虫害防除のポイントと農薬の使用」について理解を深めていただきました。第2回以降は下記のとおり実施予定です。新たに農業を始めた方、これから農業を始めたい方など、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

詳細は当部までお問い合わせください。



【第1回郡山農業塾（病虫害防除編）の様子】

今後の「ひとつ、ひとつ、実現する郡山農業塾」（予定）

	研修内容	対象者	開催日	場所
第2回	農業経営管理	新規就農者等	令和5年11月	郡山合同庁舎
第3回	土づくり	新規就農者等	令和5年11月29日	JA福島さくら 日和田総合支店
第4回	栽培技術	新規就農者等	令和5年12月	郡山合同庁舎
第5回	営農計画作成	新規就農者等	令和6年1月	郡山合同庁舎
第6回	労務管理	認定研修機関等	令和6年2月	郡山合同庁舎

問い合わせ先 農業振興普及部 024-935-1321

「すかがわ・石川地方めぐみの会」で梅加工研修会を開催しました！

【須賀川農業普及所】

女性農業者で構成されている「すかがわ・石川地方めぐみの会」が、6月27日（火）に郷隆果樹園の加工所で、梅加工研修を実施しました。会員6名と、郷隆果樹園で先進農家等留学研修中の農業短期大学の学生も参加しました。会員の郷美枝子氏の農場で生産された梅を使用し、ヘタ取りと、塩漬け作業を行いました。9月ごろの梅干しの完成が楽しみです。

すかがわ・石川地方めぐみの会では、今後も6次化が盛んな先進地への視察研修などを積極的に行っていきます。



【梅加工研修の様子】



【視察研修に向けた打合せの様子】

第1回郡山市青年農業士勉強会が開催されました！

【農業振興普及部】

6月30日（金）、郡山市青年農業士会による令和5年度第1回勉強会が開催されました。本勉強会は新型コロナウイルスの影響を受け3年ぶりに開催され、会員11名と加入希望者2名、関係機関5名の計18名が会員の松浦昇まつらのぼるさんのアスパラガスほ場、力丸哲りきまるてつさんの果樹園を見学しました。

会員の皆さんは、久々の会員それぞれの経営内容についての現地研修に喜びを感じながら交流を深め、活発に意見を交わしていました。

農業振興普及部では、今後も郡山市青年農業士会の活動を支援してまいります。



【勉強会の様子】

三春町立岩江小学校で花育活動を実施しました！

【田村農業普及所】

7月4日（火）、三春町立岩江小学校の6年生48名を対象に、県産花きに親しみ、興味を持ってもらおうと花育活動を実施しました。

はじめに、福島県で生産されている花のほか、世界の面白い花や日本の花についてクイズ形式で紹介しました。そのあと、郡山市の花屋さん「株式会社花ふじ」より2名の講師を招き、福島県産の花材（リンドウ、宿根カスミソウ、トルコギキョウ）を用いたフラワーアレンジメントを体験してもらいました。フラワーアレンジメントでは、児童が真剣に取り組む姿が見られ、それぞれに作品作りを楽しんでいるようでした。

福島県で生産されている花を知り、魅力を感じることで、県産花きへの興味が高まり、将来的な消費拡大につながることを期待しています。



【福島県の花について学んでいる様子】



【フラワーアレンジメントの様子】

グリーン・ツーリズム視察交流会を実施しました！

【企画部】

7月4日（火）、羽鳥湖高原交流促進センターで、グリーン・ツーリズム先進地視察交流会を開催しました。グリーン・ツーリズム実践者等31名が参加し、グリーン・ツーリズムの先進事例を学び交流を深めました。

まず、一般社団法人天栄村ふるさと夢学校事務局^{むらたみゆき}村田美章氏による講演を聴講しました。農家民宿、ペンション等が連携して農業体験を受け入れている事例を学び、参加者からは、村内全体で協力して受け入れている点を見習いたいとの声がありました。

次にピザ作り体験を行いました。生地から手作りしたピザを段ボールとアルミホイルで作ったピザ釜で焼いて食べました。参加者からは、ピザ釜作りはなかなかできないので貴重な体験だったとの声がありました。

この先進地視察交流会を通してグリーン・ツーリズムの受け入れ体制が更に強化されることが期待されます。



【村田氏の講演】



【段ボールのピザ釜でピザ作り】

ナシ樹体ジョイント仕立て用大苗育成研修会を開催しました！

【須賀川農業普及所】

7月5日（水）に須賀川市^{まえだがわ}前田川地区の佐藤利正^{さとうとしまさ}さんの大苗育成園で、ナシ樹体ジョイント仕立て用大苗育成の研修会を開催しました。ナシジョイント仕立て栽培の導入者や導入希望者及び関係機関が参加しました。須賀川農業普及所から大苗育成方法について説明し、佐藤さんから管理のポイント等の説明をいただきました。

新梢^{しんしょう}（新しく伸び出た枝）を伸ばすために行われるジベレリンペーストの塗布を行い、参加者も大苗育成の方法について、実際に作業することで理解を深めていました。

須賀川農業普及所では、今後も栽培管理技術の普及に向けて継続した支援を行って参ります。



【研修会の様子】



【新梢生育のためのジベレリンペースト塗布の実践】

郡山市立西田学園の児童が生きもの調査をしました！

【農村整備部】

7月11日（火）に郡山市立西田学園4学年児童36名が、学校周辺の水辺に生息する魚類や水生昆虫等の生きもの調査を行いました。

調査では、講師であるアクアマリンふくしまの職員から採集方法を教わりながら、網やバケツを手に水辺を一生懸命駆け回り、次々と生きものを採集しました。児童からは「たくさんの生きものが捕れて楽しかった」などの感想がありました。

また、生きもの採集後は生態や特徴について熱心に講師の解説を聞いており、農村地域を形作る自然環境について、楽しみながら学ぶことができました。



【夢中で生きものを採集する児童】



【講師による生きもの解説】

ASAKAMA I 8 8 7 全体研修会が開催されました！

【農業振興普及部】

7月12日（水）に、郡山市産米「あさか舞」のフラッグシップとなる最高級のコシヒカリ「ASAKAMA I 8 8 7」の生産者が、米のおいしさだけでなく、環境保全や生産行程にもこだわり設定した7つの厳しい基準の達成に向けて研修を行いました。

参加した生産者は、これからの実りの秋に向けて、猛暑に負けずに稲の活力を維持させる栽培管理等について熱心に勉強していました。

また、今年から7つの基準の一つが「温室効果ガスであるメタンの水田からの放出を抑制する中干し期間の1週間延長」に変更されたことから、実施方法について確認しました。

秋には新米が店頭に並びますので、皆さんも匠の想いと技術の詰まった「ASAKAMA I 8 8 7」を見かけましたらお手に取ってご賞味ください。



【研修の様子】



【現地視察（池澤吉雄氏ほ場）】

JA 福島さくらたむら地区夏秋野菜出発式が行われました！

【田村農業普及所】

7月12日（水）、田村市船引町のJA福島さくら船引そさいセンターで令和5年度夏秋野菜出発式が開催されました。式には、園芸部会役員、役職員、JA全農福島、各運送会社、田村農業普及所など約30名が参加しました。生産販売目標達成と無事故輸送を祈願して、テープカットを行い出発を祝いました。

6月以降気温が高く推移したことから、各品目とも生育は順調で、7月中旬から本格的な出荷となり価格も高く推移しています。

令和5年度は、ピーマン5.85億円、さやいんげん1.65億円、トマト1.7億円等、野菜全体の販売金額で10億9千万円を目標に、主に京浜市場のほか、県内市場等にも出荷されます。



【テープカットにより出発を祝いました】



「ふくしまの農村学びの場」で岩瀬農業高校の生徒が工事現場等を見学しました！

【農村整備部】

7月13日（木）に岩瀬農業高校環境工学科2年生25名を対象として「ふくしまの農村学びの場」事業による工事現場等の見学会を実施しました。

県営ほ場整備工事（三穂田北部地区^{みほた}）、安積疏水水路橋、藤沼ダム、仁井田大堰^{おおぜき}（農業用水取水施設）について、当所担当職員が工事概要、施設の機能や役割等を説明しました。

三穂田北部地区では、工事施工を行う建設会社の協力により、最新の測量計器や実際に工事用の重機が動いている様子が見学でき、生徒は興味津々でした。「とても貴重な体験になった。土木関係の仕事が面白そうだった。」と土地改良事業への理解を深めたようでした。



【工事現場見学先での集合写真】



【水路橋について説明を受ける様子】

「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーン 農林水産物PR（第1回）を開催しました！

【企画部】

県産農林水産物の消費拡大及び地産地消を推進するため、「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを実施しました。

今回は、7月26日（水）にふあせるたむら（田村市）で、先着110名の方に、県内5例目で今年1月に地理的表示（GI）に登録された「たむらのエゴマ油」の試食及び田村市産すりえごま又はえごまパウダーをプレゼントし、アンケートを実施しました。

来場者からは、「たむらのエゴマ油」は食べやすかった、えごまは体に良いので食べ続けたいとの声が聞かれました。



Point 地理的表示（GI）

その地域に住む先人たちの知恵や想いによって受け継がれてきた食品や農産物を地域特有の財産（ブランド）として保護し、その価値を国が認める制度です。



【「たむらのエゴマ油」試食】



【すりえごま等の配布】

頑張る農林業者さん

★須賀川市 こばりみきお 小針幹雄さん★

須賀川市いわせ岩瀬地区で水稲生産を営む小針幹雄さんは、株式会社中央農産の代表を務めています。水稲約16haを作付けし、秋には地域の収穫、乾燥・調製を担っています。特別栽培米の「岩瀬清流米」の生産にも取り組んでおり、減農薬で環境に配慮した水稲生産を行っています。

また、須賀川4Hクラブに所属し、若手農業者との交流により自身の農業経営の発展を図っています。本年度からは青年農業士にも任命され、「地域の方々と切磋琢磨しながら、21世紀の日本の農業を支えたい」と語ってくれました。



各部・各普及所紹介

★総務部★

総務部は、農林事務所の各部を後方支援しています。総務部の主な仕事は次の2つになります。

- 1 経理に関すること
 - 工事等に関する入札及び契約事務
 - 工事等の発注見通しや入札公告、工事等の契約結果等をホームページで公開
 - 各種補助金の審査
- 2 庶務に関すること
 - 職員の福利厚生、出張に係る旅費や公用車の管理など



おしらせ

おいしい ふくしま いただきます！
キャンペーン第2弾を開催します！！



9月9日(土)、県内外の道の駅などが多数参加する「ふくしま道の駅・空の駅まつり」が福島空港国際線貨物施設にて開催されます。ご当地グルメやふくしまのおいしい農産物が販売されるほか、楽しいステージショーや特産品等が当たる大抽選会も行われます。

当事務所も「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンの第2弾として県産農産物のPRと、あわせて6次化商品のPRも行うことが決定しました。

アンケートに答えていただいた方先着500名様に、県産農産物と6次化商品をプレゼントいたします！入場は無料ですので、皆様もぜひお気軽にお越しください！

福島県産農林水産物の安全性やおいしさを消費者の信頼に結びつけていただき、消費拡大と産地活性化を推進するため、「おいしいふくしまいただきます！」キャンペーンを実施しています。

県産農林水産物やGAPに関するアンケートに回答された方、先着500名様に

①玉川村産 日本なし 1個 プレゼント！
②ふくみなかすい一つ 1個 プレゼント！

※GAP(Good Agricultural Practice)良い農業のやり方：農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組。
※ふくみなかすい一つ：主に県産農林水産物を使用し、県中地方で製造かつ販売されているスイーツ。

日時 令和5年9月9日(土)9:30~12:00
※配布物がなくなり次第終了
場所 福島空港道の駅の空の駅まつり会場
県中農林事務所ブース

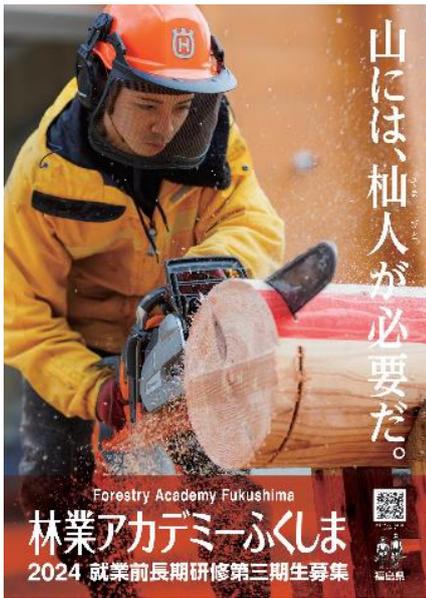
【① 玉川村産 日本なし プレゼント】
【商品イメージ】

【② ふくみなかすい一つ プレゼント】
【商品イメージ】

※悪天候等により、イベントが中止になる場合があります。
(主催) 福島県中農林事務所 企画部 地域農林企画課
福島県郡山市麓山1-1-1 電話024-935-1510

おらせ

「林業アカデミーふくしま就業前長期研修」第3期生を募集します！



林業アカデミーふくしま就業前長期研修では、本県林業の中核を担う現場技術者の育成を目指し、林業に必要な基礎知識や技術の習得、資格の取得など1年を通して学んでいただきます。

第3期生の申請受付を9月1日（金）から開始します。推薦選考の申請期間は9月1日～9月29日、選考日が10月11日（水）になります。また、一般選考の申請期間は11月9日～11月24日、選考日が12月5日（火）になります。

詳しくは林業アカデミーふくしまHPに募集案内を掲載していますので、ぜひご覧ください。また、お電話でのご質問なども対応しております。

林業アカデミーふくしま



電話 024-945-5974



研修は日々楽しく、安全には厳しく、メリハリをつけて学んでいます！

おらせ

野生きのこの出荷販売に注意



福島県の野生きのこは、放射性物質の影響により、会津地域の一部を除き、出荷が制限されています。

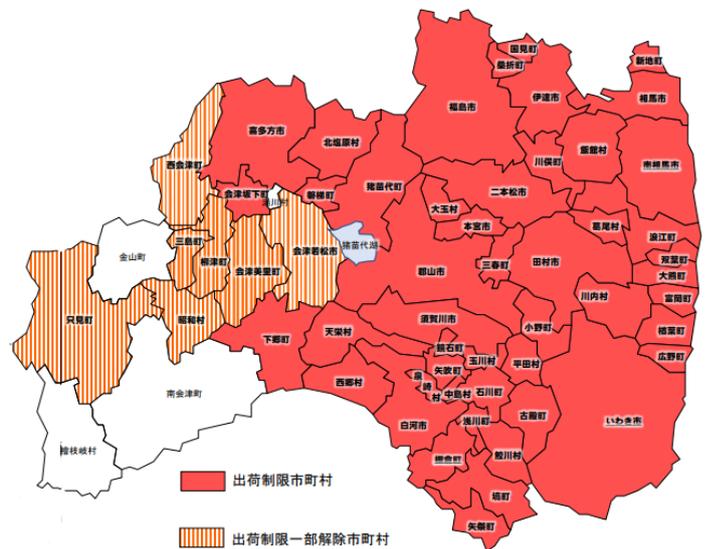
出荷制限市町村の野生きのこは、出荷、販売、譲渡をしないでください。

なお、出荷制限市町村以外から、野生きのこを出荷する場合には、事前に生産者登録をする必要がありますので、採取地を所管する農林事務所森林林業部にご連絡ください。

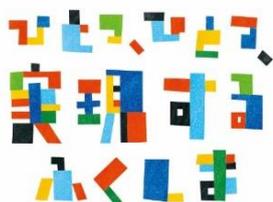
また、まつたけの出荷及び検査については別途お問い合わせください。

森林林業部 024-935-1367

詳しくはこちら <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>



【福島県内の出荷制限状況（野生きのこ）】



お問合せはこちら

【編集・発行】

福島県農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

